

令和5年9月第5回松阪市議会定例会

請願文書表

受理番号	請願第7号
受理年月日	令和5年8月31日
件名	防災対策の充実を求める請願
請願者の住所及び氏名	松阪市嬉野町1430番地 松阪市PTA連合会 会長 鈴木 寛子 松阪市殿町1508番地1 松阪市小中学校長会 会長 青木 俊幸 松阪市大石町64番地1 松阪市幼稚園・こども園長会 会長 坪内 弘明 松阪市垣鼻町1528番地4 三重県教職員組合松阪支部 支部長 山際 健太郎
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	東村 佳子 吉川 篤博 橘 大介 楠谷さゆり 中島 清晴

防災対策の充実を求める請願

提出 令和5年 8 月 31 日

松阪市議会議長 坂口 秀夫 様

紹介議員
 吉川 篤博
 橘 大介
 中島 清晴
 楠谷 さゆり
 東和佳子

提出者

三重県松阪市嬉野町1430
松阪市PTA連合会

会長 鈴木 寛子



三重県松阪市殿町1508-1
松阪市小中学校長会

会長 青木 俊幸



三重県松阪市大石町64-1
松阪市幼稚園・こども園長会

会長 坪内 弘明



三重県松阪市垣鼻町1528-4
三重県教職員組合松阪支部

支部長 山際 健太郎



請願の趣旨

子どもたちの安全・安心を確保するため、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実を図るよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

2022年12月現在、三重県においては、公立小中学校の全体の25.1%に当たる124校の小中学校が、県の公表する津波浸水想定区域内に立地し、うち108校は避難所に指定されています。時間的に余裕をもって避難できる高台が周辺になく、津波に対する安全性が確保されない学校については、高台移転や高層化などの対策が求められています。国による津波対策のための不適格改築事業については、2015年に制度の拡充がなされたものの、補助要件である「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく「津波防災推進計画」の策定は全国的にも進んでおらず、支援制度の活用が難しい状況です。補助要件の緩和、補助対象の拡大等支援制度のさらなる拡充を求めます。

また、感染症が流行している最中であっても、災害時には避難所は開設されます。新型コロナウイルス感染症感染拡大時に出された国のガイドラインでは、準備スペースの適切な分離や必要な備品等が記載されていましたが、自治体間格差が生じるなど、国による責任ある十分な財政的措置が講じられたとは言えない状況でした。災害や感染症は、いつ発生するかわかりません。性やプライバシーに関する課題への対応、また、外国人、介助・介護が必要な高齢者、障がい者、女性、乳幼児への配慮など、まだまだ改善すべき課題は山積しています。国の責任において、安心して被災者が避難できるように備えるべきです。過去の災害に学び、最善の備えを整えていくという考えのもと、防災に関わる施策がさらに充実されることを強く望むところで

以上のような理由から、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実を進めることを強く切望するものです。